

厳選良問

～ 相互比較で解くことができる問題 ～

分野	法律系分野	出典	介護福祉士試験(第29回-問題70)
----	-------	----	--------------------

===== 問題 =====

問題 年齢規定に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 老人福祉法では、原則として70歳以上の者を施策の対象としている。
- 2 介護保険法では、50歳から第2号被保険者になる。
- 3 高齢者の医療の確保に関する法律の後期高齢者医療制度は、60歳以上の者を対象としている。
- 4 高年齢者等の雇用の安定等に関する法律では、事業主に、雇用している高年齢者が希望するときは、75歳まで継続雇用することを義務づけている。
- 5 道路交通法では、運転免許証の更新を受けようとする75歳以上の者に、認知機能検査を義務づけている。

===== ポイント&解答 =====

資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★★	★★	★★★	★	×

注) ★★★…必ず学習!! ★★…できれば学習! ★…余裕があれば確認 ×…学習しなくてOK

試験対策ポイント解説

このパターンの問題は、「法律や規定を知らなければ解くことができない」と思われがちですが、「基準がどこか」を決めて相互比較していくと、どうにか正解を導くことができます。基準の決め方には、「一般論で決める方法」と「1つの選択肢をチョイスする方法」があります。「一般論で決める方法」では、多くの方が、「定年」や「高齢者」という点で、60歳か65歳のどちらかを選ぶと思います。基準の決め方はこんな感じでOKです。

そこに基準を置くと、単純に選択肢1, 選択肢3, 選択肢4は「違うなあ」と思えるかと思えます。残るは二者択一ですね。

「1つの選択肢をチョイスする方法」は、「選択肢の1つだけ分かっている」とときにはそれを基準にする方法です。例えば選択肢1が「原則65歳」と知っていれば、選択肢3は間違いなく「×」だと判断できるかと思えます。こんな感じで、1つの基準を設定して、そこから推察することで、正解に一步近づくことができます♪是非試してみてください。

なお、選択肢5は、他の資格試験も含め、頻繁に出題されていますので、しっかり覚えてください。

解答	5
----	---

